

就任のご挨拶

新会長 千明道太



村民の皆様には、日頃より社会福祉協議会の運営に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

6月20日の理事会において、会長の職に就任いたしました。地域福祉の推進のために、村民の皆様をはじめ関係各位と協働し取り組んでいくために、努力してまいりますのでよろしくお願ひします。

昨今、福祉を取り巻く環境は、大きく変化し続けています。ニーズは多様化し、サービスシステムも幅広く複雑になっています。少子高齢化社会を迎える社会保障、様々な制度が大きく変わる中で、福祉の方を見直し、今の時代の流れに乗った環境整備をし

ていく必要があります。

誰もがお互いを尊重し合い、その人らしく生き生きとした生活ができるようにするため、地域住民の一員として、助け合い、支え合える地域づくりへとつなげていきたいと思います。

第二次片品村地域福祉活動計画が平成29年度末で終了するのに伴い、現在第三次計画を策定するため、策定委員会・専門部会を設置し作業に入っています。基本理念の『誰もが安心して暮らす輝く村づくり』を実現するために、新たな取り組みを進めていきます。

「夏がくれば思い出す……」のフレーズで始まる国民的愛唱歌の一節に「尾瀬」のことが歌われています。今、片品村に多くの観光客が訪れているのではないかと推察しているこの頃です。

平成27年5月から社協会長の重責を2年間にわたり無事に努めさせていただきました。村民皆様のご協力に対し、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

片品村も全国的な傾向の少子高齢社会が加速度的に進んでいることを痛切に感じた一年間でもありました。少子高齢社会を考えた時、対策の方法として先進事例に石川県白山市にある社会福祉法人佛子園に着目をいたしました。その特徴は、高齢

退任のご挨拶

前会長 星野千里



者も子供も若者も障がい者も分け隔て無く同一の場所でお互いが、その個性や特徴を生かしあつて新たな活性化の創造が生まれている事です。

誰もが分け隔てのない平和な環境の中でお互いを認め、高めあう事こそ福祉社会の源泉だと思います。

片品村には、福祉充実の土壌があります。今後皆が等しく認め合い高め合う場所を創り出す事が必要ではないかと確信しています。

これからも片品村の明るい福祉社会の為に日々努力してまいりたいと思います。社会福祉協議会の発展と益々のご活躍を心から願い、退任のご挨拶とさせて頂きま

す。

今後も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。